

第21回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：平成29年4月17日（月）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife放送番組審議機関審議委員（平成29年4月17日現在）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（株式会社oricon ME 元『オリ★スタ』編集部編集長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

*あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（株式会社oricon ME 元『オリ★スタ』編集部編集長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

*あいうえお順、敬称略

■議題

- ・放送番組種別の承認（平成28年10月～平成29年3月分）
- ・視聴者からの問い合わせ状況報告（平成29年1月～3月分）
- ・4月 番組改編と編成戦略について
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

<審査番組>

【ドラマ】 「Hawaii Five-0」 第1話

【バラエティ】 「Dlife開局5周年スペシャル 海外ドラマ S0!選挙」 応援解説ミニ番組

【バラエティ】 「Dlife開局5周年スペシャル 海外ドラマ S0!選挙」 開票特番

【バラエティ】 「セカイマ！」 第5話

■議事概要

○放送番組種別の承認

—当社より放送番組種別について平成28年10月～平成29年3月分までの6カ月間の各第3週目の実績を説明し、承認された。

※詳細は、ホームページ上に公開。

○平成29年1月～3月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況について、入電者の男女比率、年齢層、視聴者からの問い合わせや要望、また再放送の要望が高かった番組を報告し、確認された。

○4月番組改編のポイントについて、以下の3つのポイントについて、番組宣伝映像を交えながら説明を行った。

1. プライムタイムに、引続き話題の海外ドラマをラインナップし、編成を強化。
無料初放送となる「X-ファイル 2016」、日本初放送となる新シリーズ「コード・ブラック生と死の間で」他、チャンネル初登場となる人気ドラマの放送を開始。
更に放送中の人気シリーズの続シーズンの継続放送も加えた編成で、海外ドラマファンの視聴を喚起する。
2. 「Dlife開局5周年スペシャル」特別企画として、「歌え！ディズニープリンセス・ムービーーズ」と題し、ディズニー・プリンセス主演の珠玉の長編アニメーション「リトル・マーメイド」「アラジン」「シンデレラ」「美女と野獣」を4週連続放送。
各放送の冒頭には、各映画の楽曲を手がけた作曲家アラン・メンケンによる楽曲の解説や、歌唱指導が施され、更にプレゼント付きクイズの出題もあり、映画の視聴をより楽しめる企画であることが紹介された。
3. 5月には、日本初放送となるアニメーションで、映画「塔の上のラプンツェル」の続編「ラプンツェル あたらしい冒険」を放送予定であることが紹介された。

○委員からは、事前視聴、及び当日上映された番組に対し、それぞれ以下のような意見や感想が寄せられた。

— 「Hawaii Five-0」第1話について

舞台となるハワイのロケーションを楽しめ、かつ脚本とアクションシーンの質が高い秀作である、という高い評価が、ほぼ全員の審議委員から寄せられた。また、ハワイという長閑な風土において、凶悪犯罪が起こるドラマ設定に驚いたという感想も寄せられたが、これに対し、1960年代に

渡米経験のある審議委員より、1960年代以降のハワイの社会的背景、アジア人の定着と犯罪の歴史についての説明がなされた。

こうした史実により、日本人はハワイを最も近いアメリカとして親しみを覚えてきた歴史的背景があるため、このドラマへの興味が深く、人気が高いのではないかという所感が寄せられた。

— 「Dlife開局5周年スペシャル 海外ドラマ SO!選挙」応援解説ミニ番組、開票特別番組について

開局より、人気海外ドラマの数々を放送してきた実績のある、Dlifeらしい画期的な企画であり、多くの視聴者に楽しんでもらえたことに高い評価が寄せられた。谷原章介の司会が良く、登場人物のキャラクターを精神医学的な分析に基づく解釈をした解説や、吹替え作業の苦労話、撮影現場の裏話等、海外ドラマをより楽しめるコメントの数々が興味深かったという出演者への好評価も寄せられた。

一方で、海外ドラマファンとして更に番組を楽しむためには、舞台裏の話により特化し、制作に関わる人物のキャスティング等も面白かったのではないか、また、視聴者の感想を紹介するコーナーの拡大や、男女別のランキングなどがあった方が、より視聴者の参加型企画としての番組特性を打ち出せたのではないか、という意見も寄せられた。

— 「セカイマ！」について

MCの小藪千豊の起用に高い評価が寄せられ、今後のよりストレートなコメントを期待する声が寄せられた。

また、サヘル・ローズとの会話のやりとり、有村昆を迎えての映画紹介コーナーが、日曜の夜にゆったりと見るのに良い演出で楽しめる、という感想が寄せられた。

一方で、小藪千豊を知らない視聴層はどう捉えるかを懸念する意見も寄せられた。

更に、短い番組仕立てにしても楽しめるのではないか、という意見も寄せられた。

以上